

イアンサ . S . ライズリー RI会長テーマ
「ロータリー：変化をもたらす」
2820地区スローガン
「未来へチャレンジ」



前々回の例会報告

第2158回例会 12月21日(木)

於・大洗ホテル 18:30~

- 点鐘 坂本副会長
- ロータリーソング “奉仕の理想” 斉唱
- お客様紹介 高崎委員長
 - ・小谷隆亮様 (大洗町長)

○幹事報告 加部東幹事
 ・幹事メモの報告
 ○年忘れ家族親睦会
 高崎親睦活動委員長はじめ、委員の方々のおかげで楽しい時を過ごすことができました。参加くださった家族の方々、企画してくださった親睦活動委員会、会場監督のみなさん、アトラクションで素晴らしい演技を見せていただいた方々、ホテルスタッフの方々本当にありがとうございました。
 (会報委員 土子記)

年忘れ家族親睦会



前回の例会報告

第2159回例会 1月11日(木)

於・例会場 PM 0:30~1:30

○点鐘 田口直前会長

○国歌斉唱

○ロータリーソング “奉仕の理想” 斉唱

○四つのテスト唱和

○ニコニコ BOX 吉川委員

- ・伊藤会員 「明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈り致します。1月28日の創立45周年記念式典が無事開催できますようよろしくお祈りします。」
- ・飛田会員 「昨年12月娘夫婦が同居することになりました。1月5日娘に男の子が生まれました。長男の子に続き2人目の孫です。」
- ・高崎会員 「年末の大洗 RC ゴルフコンペで優勝しました。」

○出席報告 関根委員長

日付	出席	欠席	メーク	出席率	天気
12月21日	30	0	0	100%	晴

○委員会報告

★45周年記念実行委員会 吉川総務委員長
創立45周年記念式典の出欠表を回覧しますのでご記入ください。

★雑誌委員会 木村委員長
1月は職業奉仕月間です。色々の「職業奉仕」に対する会員の思いが紹介されています。

横 P03 → ライズリーRI 会長メッセージは「多様性はロータリーの強み」であり、それには若い会員や女性会員の力が不可欠であると言っています。

横 P08 → 「職業奉仕について考える」(松宮 剛 元 RI 理事)の講演(加筆)が掲載してありますが、要するに「職業(仕事)は本来他人のためにすることであり、奉仕である」という内容を漱石やシューマッハの言葉を用いて、わざととも思えるほど難解な文章で懸命に自説を説明しています。残念なことに私はこの方の文章を読んで、漱石の引用文から「自分のためにすることは、すなわち人のためにすることだ」との結論は導けませんでした。逆に『草枕』の画工や『それから』の長井大助のような、漱石の云う「非人情」を思い浮かべて、再度読み直ししなきゃいかんかなとの感に囚われました。シューマッハ(F1のレーサーではない!)の経済学もしかり。難解なだけです。「仕事をやるにあたって、相手のきもちを慮る」ことは当たり前のことですが「職業は相手に奉仕するためにある」との考えには未熟にもその崇高なる境地にまだまだ至りません。根本が理解不可能ですから、「親睦」と

「職業奉仕」の関係も都合のいい解釈を導き出しているに過ぎないように思えます。ましてや「人間とはなにか? 人生の目的とはなにか」というような「哲学の究極の命題」をかような小時間の講演で説明しようとするのは先哲に対して不敬にさえ思えてきます。

「職業奉仕」の理論武装は失礼ながら「神守源一郎」でもうたくさんです。理論に囚われず、己の考える「職業奉仕とは」を見出し、実践することこそ今のロータリアンに必要なことではありませんか?

横 P12 → 上記の松宮副会員の記事を読んで疲れ果ててしまい熟読できませんでしたが、様々な会員が自分なりの「職業奉仕」を考えて実践しています。

難解と言われる「職業奉仕」の参考にはなりませんので、お読みください。

とここまで「友」を読み進めて、自分も独りよがりな説明、解説をしているのではないかと不安になりました。退屈な紹介は今はもう終わりにしましょう。

恒例の「俳・歌・柳壇 勝手に解説」にいきたいと思います。

縦 P20 → 相変わらず読みの難しいもの、ルビのほしいもの、ググらないと解らない歌や句が目立ちます。俳3句目の「温め酒」は「ぬるめ」か「ぬくめ」か判りませんでした。調べてみると「ぬくめ酒」が季語にあります。重陽のときからは酒を温めてのむんだそうです。余談ですが白楽天の『林間に酒を… 紅葉を焼(た)く』を調べてこの文字を使ってるのかしらとおもったら『暖めて』でした。グーグル勉強になります! 同5首目の「銀漢や」は最初「銀冠」の誤り? と思いましたが。いいえ「銀漢」天の川、銀河のことです。16句目の「領巾振の山」読めません。「ひれふり山」(唐津)ですって、おねがい! ルビつけてください。19句「木歩の忌」は俳人富田もっほのこと。……ふう。歌壇に茨城の会員の歌が2首選ばれています。第2首目太田クラブの小祝さんのこの歌ここで切るんですか? 「わがが」「わがは」まあ意味は変わりませんが…。川柳は、柳多留「天人が小田原町を覗いて居」の逸話のように句の意味がなかなか判らず懸命に考え、それが解けたりしたときの嬉しさも楽しさの一つですね。柳の5句目の「約束…」に縛られているのが小指でなく薬指なのは、指輪を嵌める指だからですよね。ご愁傷様です。8句目は解りません。逢う約束の日を忘れた程度のささいな恋心ですか? 逢った日を忘れた遠い昔の恋ですか? 待ちかねた「逢える日」、逢ってみるとそんな辛さを忘れてしまうほど燃えあがった恋だったんですか? ひと(他人)の恋路などどうでもいいけど何故か気になります。やはり「恋や恋…なすな恋」。10句、蛇足ですが横組裏表紙、横 P41 の広告をご利用になっては如何ですか。今月は横 P08 からの難しい記事に敬意と少々の皮肉を込めて、秀逸は句解共にこれです。

「極端に真理はないと民の声」

★2009年度米山カウンセラー 大内会員
2009年度米山奨学生の孫さんより挨拶状が届きました。

広報おおあらいより



次回例会 第2161回例会 1月25日(木) 12:30~ 於: 例会場

卓話「45周年記念式典全体打ち合わせ」

今月のロータリーレート \$1=¥114

今月は職業奉仕月間です。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか
会報委員会 土山 大輔 海老澤 一夫 土子 吉久